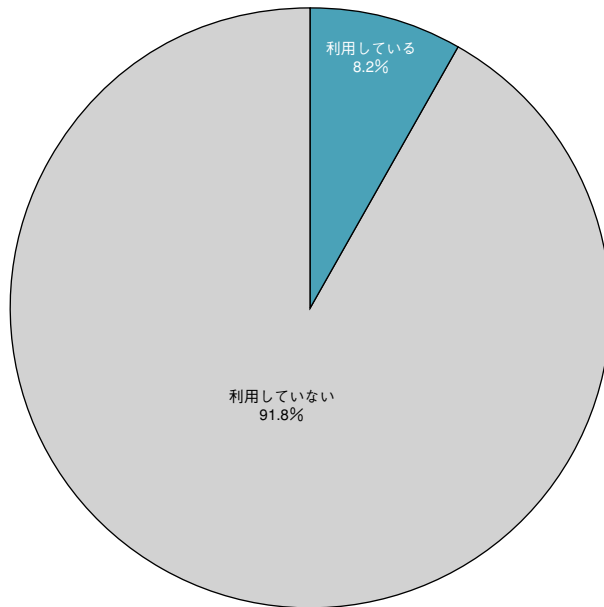


Eラーニング

Eラーニングの利用者は8.2%

資料2-4-69 最近1年以内のEラーニング利用有無 N=2,742

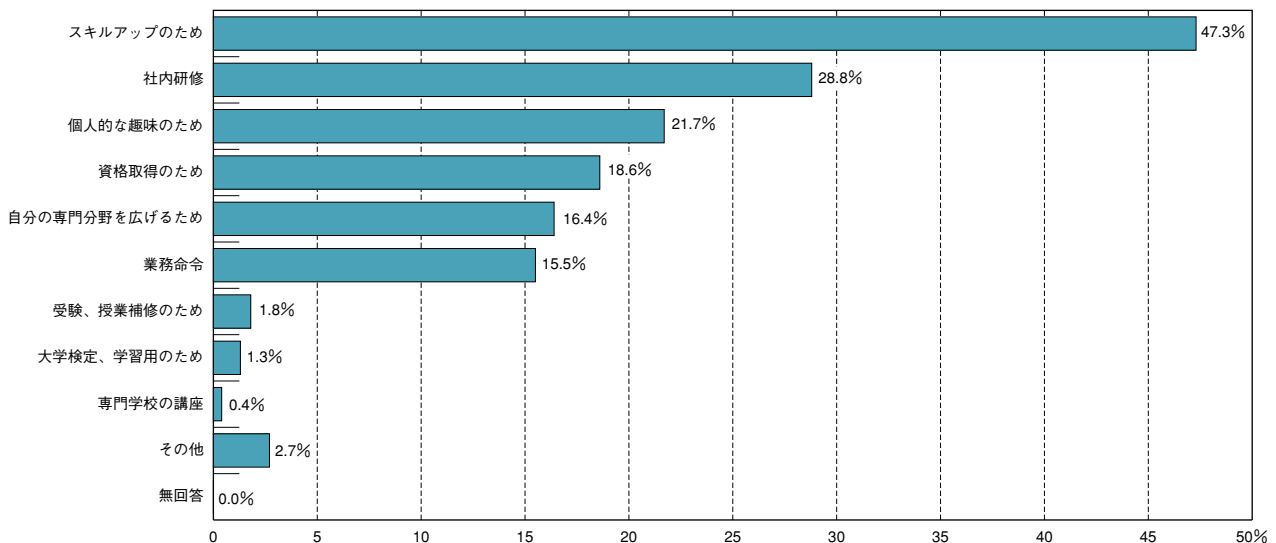


©Access Media/impress,2003

現在、Eラーニングを利用しているユーザーは8.2%と決して大きなものではないが、「学び」や「スキルアップ」の需要は大きいだけに、提供側がブロードバンド環境をうまく利用したサービスを展開できれば、今後大きく飛躍する可能性はある。

社会人のサバイバルにEラーニングでスキルアップ

資料2-4-70 Eラーニングの利用目的 N=226



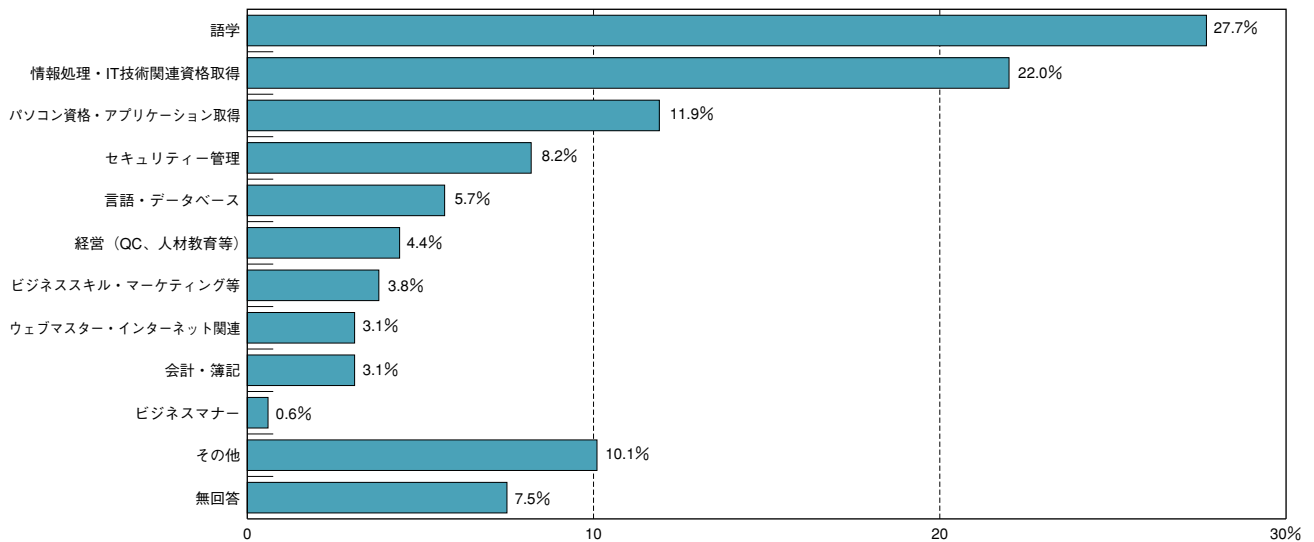
©Access Media/impress,2003

Eラーニングの目的は「スキルアップ」(47.3%)、「社内研修」(28.8%)、「資格取得」(18.6%)など。ユーザーの大半が、社会人としての切実な目的を持って利用していることがうかがえる。この傾向は今後もますます増大すると思われる。

Eラーニング

仕事に直結する「語学」と「情報処理」が上位

資料2-4-71 Eラーニングを利用した分野 N=159

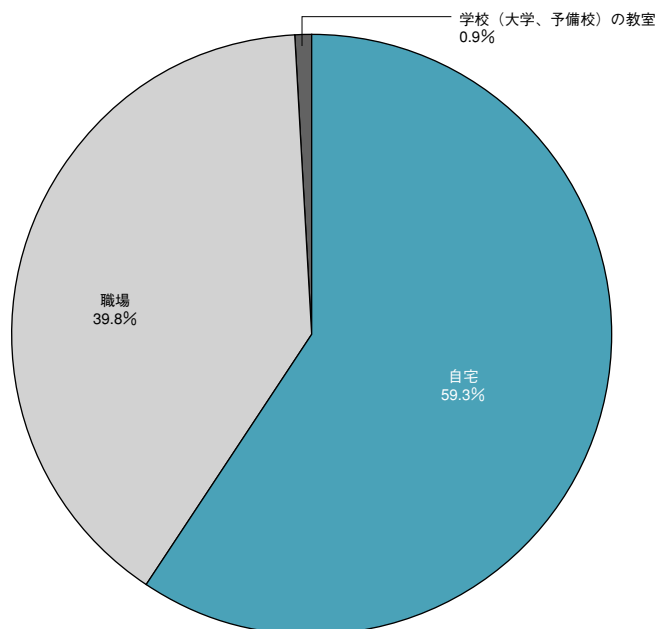


©Access Media/impress,2003

Eラーニングを利用した分野は「語学」（27.7%）と「情報処理」（22.0%）が上位2位を占めている。仕事に直結する分野であり、能動的に資格やスキルを身につけようとする姿勢がうかがえる。

学習する場所は「自宅」が「職場」を上回る

資料2-4-72 Eラーニングの利用場所 N=226



©Access Media/impress,2003

学習場所が「自宅」（59.3%）との回答は、ブロードバンド回線環境が整っていることから自発的な資格取得や能力向上を目的としてEラーニングを利用していることがうかがえる。「職場」（39.8%）からは、企業の積極的な社員教育姿勢も推測できる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp